

# いけだ

議会だより

令和3年1月27日発行

## 手作りの 鬼滅の刃 たいまつで厄払い 無病息災

内鎌地区の三九郎 育成会子供たちが活躍！



### 目次

- 新年あいさつ／10・11月臨時会 … P2
- 12月定例会の目玉 …………… P3
- 予算審査質疑 …………… P4,5
- 食育推進特別委員会から …………… P8
- 7議員が一般質問 …………… P9～15
- 町民の皆さんに聞く …………… 裏表紙



新年あいさつ



議会議長  
倉科 栄司

新年明けましておめでとう  
ございます。

令和3年の年頭にあたり、  
池田町議会を代表して謹んで  
新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス  
の世界的な蔓延により、全  
ての社会的構造・生活が根底か  
ら覆され、日常生活の根本か  
らの見直しが迫られた一年で  
ありました。

例年であれば進学・就職な  
どで故郷池田町を離れた皆さ  
んも、正月の帰省により賑や  
かな新年を迎えるところであ  
りますが、本年は帰省もまま  
ならず静かに日常を送るよう  
厳しい自粛が求められての  
年でもあります。

一日も早い有効なワクチン  
の供給体制が確立されること  
を願うとともに、医療現場の

10月臨時会 第三者行政検証委員会設置案を全会一致で否決！

近年の大型事業や経常経費の推移などの行財政運営について検証することを目的に、第三者による行財政検証委員会の設立をするための条例改正案が出された。しかし、議員全員の反対で否決。併せて提出された都市再生整備計画評価委員会の設置も否決された。

質疑：

問 行財政検証委員会設置については、新聞報道で知った。事前に議会に相談がなかったのが残念だ。今回は4人の委員が選ばれるということだが、今後はどのように推移していくのか。

答 時間がないため、前もって議会に提示できなかったことは申し訳ない。今後については、今のところは考えていないが、必要に応じて考えている。

反対意見 検証委員会については臨時会の前に説明を聞いたばかりで、議会の中でも十分な議論ができていない。議会と行政の議論が必要ではないか。第三者よりも、町民や議員と深く議論をするべきではないか。

町道八代線道路改良  
工事請負契約の締結  
事業費：7227万円

〔財源〕

町債	7220万円
一般財源	7万円
町道八代線の拡張工事を行うための契約	



町道八代線落合橋付近

ギガ  
GIGA スクール構想  
物品購入契約の締結  
事業費：3759万円

〔財源〕

国庫支出金	1899万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生 臨時交付金	1860万円
タブレット端末共同調達の物品購入契約 小中学生全員および教職員へタブレット 端末一人1台貸与(49800円を755台調 達。)	



GIGAスクール用端末

11月臨時会 一般職および特別職の期末手当を削減

・一般職および特別職の給与に関する条例等の一部改正

令和2年10月の人事院勧告に基づく国家公務員給与改訂に準じ、一般職・特別職の職員に支給する期末手当の支給月数を0.05か月分引き下げる。年間で160万～170万円の減額。

最前線で日夜献身的にご努力をいただいている医療従事者の皆さんに心からの敬意と感謝を申し上げます。

さて、池田町ではここ数年の財政運営が財政調整基金を繰り入れての運営により、基金が枯渇寸前となり町民の皆様が大きなご負担をお願いする予算編成をせざるを得ない状況となりました。行政の責任はもちろんでありますが、基金頼みの行財政運営を容認してきた議会もその責任は重いものと受け止めております。

ふるさと池田町の再生のため、行政、議会、町民の皆さんが一丸となってこの難局を乗り越えていくことが求められます。町民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が、有効なワクチンの開発・供給により一日も早く終息に向かうことと、本年が皆様にとりまして希望ある素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年に当たってのご挨拶とさせていただきます。

## 12月定例会

### 主な目玉事業

でてる坊主の  
ふるさと応援  
寄付金経費

事業費: 4821万円



一番人気の返礼品のワイン

#### 財源

応援基金繰入: 1715万円(ふるさと納税業務委託料およびシステム使用料として)  
返礼品のワイン、米等好評により、ふるさと応援寄付金を3116万円増額した。

### 12月定例会の概要

補正予算案、ほ場整備に伴う町道路線の廃止・認定など、議案9件、陳情4件、意見書5件、要請書1件を審議し、可決した。

地域おこし  
協力隊事業

事業費: 272万円



日本アルプス国際学院

#### 財源

特別交付税 272万円  
日本アルプス国際学院に2名常駐しJT関連や日本語教育などの留学生のサポートを行う。学校の長期休暇中は町民のTサポートなども行う。

花とハーブの  
里づくり事業  
ハーブセンター照明  
LED 化工事ほか

事業費: 195万円



ハーブセンター

#### 財源

一般財源 195万円  
ハーブセンター店舗の照明をLEDに変更する費用ほか

道路維持経費

1000万円



除雪機

#### 財源

一般財源 1000万円  
除雪作業を委託するための費用

町営バス  
更新事業

1035万円

#### 財源

一般財源 1035万円  
町営バス明科線のバス老朽化のため、マイクロバスを更新など



町営バス

ここが  
聞きたい

# 予算審査

質疑

令和2年度の一般会計予算及び後期高齢者医療特別会計、下水道事業会計の補正について、予算決算特別委員会で審議しました。抜粋して審議内容をお知らせします。

## 令和2年度 一般会計補正予算

歳入歳出に6606万円追加し、予算額が65億8431万9000円になりました。

### 新婚生活支援事業

新婚生活支援事業は実績も出ており15万円程度の補助は残しても良いのではないかと。

申請は4年間で3件と少ないので削減の対象と考える。

### 地域おこし協力隊を 専門学校に派遣

地域おこし協力隊が日本アルプス国際学院に勤務する経緯を聞く。

学院から、席を学院に置き学生や町民のIT能力を高める取り組みをしてほしいと、申し出があった。

学院にとって、協力隊員による学生支援の意味の活用か。

学院に常勤するのでメインは学生の講義となるが、夏休み等は町民への講習を入れたい。

教師資格のない補助員の扱いはどうなるのか

すべての職員が教員免許を持たなくてよい。教務主任の資格を持つ人が1人いれば良い。

協力隊員の勤務地は学院で管理元は企画政策課か。

企画政策課が労務管理するが、勤務内容は学院とすり合わせをする。

協力隊員の任期は3年で、令和3年は留学生が少なくなり、学院の形態が変わるが、今後、問題が起こらないよう対応が必要ではないか。

ITや日本語教育を継続すると思うが、職業訓練校ということもあり協力して頂くようお願いする。

**要望** GIGAスクール支援員が必要となるので協力隊活動計画に町も利用する趣旨を入れてほしい。

消火栓備品盗難の対応は

消火栓の筒先の盗難が近隣市町村であったが、町の被害はどうか。

点検した結果、1つ筒



消火栓

先がなかった。その後の点検では問題はない。

### 広域消防はしご車の披露

広域消防のはしご車が新しくなり、披露はいつか。

出初式に披露を予定していたが、コロナの影響でいつになるかわからない。

**要望** あづみ野テレビで保育園児を乗せた映像が放映された。保育園と連携して行ってもらいたい。



新しくなったはしご車



ラッピングバス

### バスにラッピングを

町営バス明科線のバスが更新になり、ラッピングバスの処理について聞く。

バスは公売する予定で、ラッピングの費用が95万4000円かかるので、青、黄、緑のラインのマーキングにする。

マーキング費用はいくらか。またバスの処分は、様々な用途で売却している自治体もある。売却価格はどのくらい考えているか。

マーキング費用は24万2000円で、公売価格は予想がつかない。

ふるさと納税に繋がると、町の魅力発信のラッピングをしてほしいが、

明科線は安曇野市を通る区間が短く効果が少ないためラッピングを見送ることになった。

### 健診はどうなる

特定検診で検便やがん検診はなくなるのか。

特定検診、がん健診、大腸がん検診(500円)は行う。無料クーポンを対象家庭に送るのは行わない。

### 新型コロナウイルスワクチン接種 で基礎疾患者の把握は

新型コロナウイルスワクチンが早ければ令和3年3月という情報がある。ワクチン接種の優先順位について、基礎疾患者の数字は把握しているか。

基礎疾患者の数は把握していない。把握の方法は、法的ルールを守って実施する。



大北森林組合返還金は

【問】 森林組合の返還金は以前より額が上がっているが、経営状態と今後の返還の見通しを聞く。

【答】 返還金額は毎年度の決算状況を見ながら決定している。返還期間は長くなる。賠償金などが上乘せになり、今後とも県と調整していく。

【問】 ハーブセンターの照明と看板は

【答】 花とハーブの里づくり事業で、店内入り口の看板を設置するがどういうものか。また、店舗の照明をLED化するがその範囲は。  
【答】 看板は、農産物直売所と判る看板にする。LED化は、ハーブセンターの管理販売施設のみとする。



LED化するハーブセンター

森林整備の税金の使い方

【問】 森林・山村多面的機能発揮交付金を県に返すが、今後の町の対応は。

【答】 当初、広津と陸郷地区に事業を導入して交付するもので、県に返還するものでない。森林環境譲与税が市町村に交付される。森林づくり県民税は令和2年で終了するが、今後の対策は県でも決まっていない。国から譲与税があるので、町の整備方針を定めていきたい。

【問】 林業振興事業で更新伐事業補助金の財源はどうなっているか。

【答】 事業費から収入を引いた額で更新伐補助金額は376万5000円で、間伐の補助対象事業費は808万3000円で、5%の40万4150円が町補助金算定額となる。

ほ場整備事業

【問】 ほ場整備事業補助金を土地改良区で借入するが、返済はどうなるのか。

【答】 公庫へ借り入れ申請している。元金据え置き期間があり、償還期間は

中山間地域直接支払い補助金は

【問】 中山間地域直接支払い補助金について、生産性向上の内容を聞く。

【答】 農産物のブランド化や加工販売担い手の農地の集積集約作業の委託、機械作業の共同化作業の省力化が主な対象となる。

【問】 除雪委託の今後は

【答】 除雪委託で重機所有



除雪機

会染西部ほ場

の困難や人材不足があるが、町の対応を聞く。

【答】 高齢化や事業者の継続が厳しい状況になり、来年度から対応を考える。

【問】 除雪の自治会委託で近年事故が増加している。今後の町の対応は。

【答】 契約の際に重機運転者の免許を確認している。安全対策の指導を行っている。

【問】 コロナ禍での音楽・演劇鑑賞は

【答】 コロナ禍で音楽、演劇鑑賞が中止となった。近隣の学校の対応は。  
【答】 大北地区は音楽鑑賞中止で統一され、観劇は学校単位の判断となった。が基本的に中止となった。

【問】 学校の衛生管理は

【答】 コロナ禍での学校の衛生管理の取り組みは。  
【答】 9月からスクールサポートスタッフが小中3校の消毒を行っている。費用は時間単価で、財源は県費となっている。

予算決算特別委員会総合審議報告

ふるさと応援寄付金

1 価値ある返礼品の開発  
2 寄付者に寄付金の使用実績を知らせてお礼し、更なる寄付へ繋げるよう努力されたい。

地域おこし協力隊（IRTリテラシー向上）

1 地域おこし協力隊なので、町民へのIRTリテラシー向上に役立つよう指導されたい。  
2 地域おこし協力隊を導入することにより、日本アルプス国際学院の生徒指導体制がより充実されるよう町も協力されたい。

除雪作業について

自治会に委託して除雪作業を行っているが、高齢化と安全性が課題である。今後対策を検討されたい。

小中学校の演劇・音楽鑑賞について

本年度コロナ禍で小中学校の演劇・音楽鑑賞が取りやめになった。しかし、鑑賞会は児童生徒の心のケアに重要な。来年度コロナ感染症に配慮しながら実施の方向で努力されたい。

GIGAスクール構想について

1 パソコン端末が生徒に支給されるが、教職員がシステムに慣れるよう、民間の支援者の協力を含む措置を取られたい。  
2 マウスや液晶シートなど周辺機器が必要となるGIGAスクール構想の推進について、事前に議会に提示された



# 4つの陳情をすべて採択

常任委員会審議・陳情審議・討論

## 常任委員会

## 総務福祉委員会

●議案 町特別職の職員等の給与に関する条例及び町執行機関の附属機関設置等に関する条例の一部改正

○都市再生整備計画評価委員会委員の選定について、各団体への当て職ではなく、詳しく関わってきた方、議員からも選んでいただきたいが。

○委員には福島大学の奥山教授、都市再生整備計画を策定した委員、また交流センター利用者や、商工業関係者等を考えている。議員からは検討している。

○委員選定の中で、公平性があるが、コンサルタント業者からの推薦もあったが、公平性が担保できるのか。

○第三者機関というこ



町なか再生事業の検証が行われる

## 陳情審議

●陳情 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書

意見 ウイルス感染症は益々増えていく懸念がある。健康と命を守る大事なことで賛成したい。

審議結果

全員の賛成で採択

●陳情 大北地域における在日米軍の飛行訓練中止を求める意見書提出に関する陳情

意見 飛行訓練によりライチヨウの生息に影響がある。北アルプス山麓でライチヨウの保護も大事である。飛行訓練には反対である。

意見 信州大学から「直接依頼いただければ推薦できる」という話を聞いている。町が主体となつて選定したということが明らかにできる選定方法をお願いしたい。

採決の結果

全員の賛成で可決



町上空を飛行する航空機 (9月17日)

本会議賛成討論

薄井孝彦議員

令和2年9月17日午後3時ころ小谷村に飛来した戦闘機の爆音を聞いた保育園児は恐怖で泣き出したと言われている。飛行訓練を中止して欲しいと願うのは地域住民の願いであり、これに添えるのは国の責務である。よって、本陳情は採択すべきである。

審議結果

全員の賛成で採択

●陳情 核兵器禁止条約発効を目前にした今、日本政府に対してただちに条約に参加・調印・批准することを求める陳情

意見 前回も同じような内容が出て、前回一致で採択された。被爆国として当然のことと思うので、陳情を採択してほしい。

○長野県内では50の自治体が核兵器廃絶宣言を表明しているが、当町は入っていることでよい。

○核兵器廃絶、軍備縮小、平和のまち宣言を昭和63年6月23日に制定している。

本会議賛成討論

薄井孝彦議員

今、世界の核兵器は1万3400基あると言われている。核戦争が起これば人類は滅ぶ。よって本陳情は採択すべきである。

審議結果

全員の賛成で採択

●陳情 日本学術会議会員の任命拒否の撤回を求める陳情

意見 今回の任命拒否については全く理解できない。この問題は国民全体の問題である。よって採択すべきである。

意見 理由を言わないことが最も問題である。自信があるなら説明責任を果たして同意を得るべきである。

本会議賛成討論

服部久子議員

憲法23条には学問の自由の条文がある。日本学術会議任命拒否は、多くの学者、団体、文化人、一般市民から抗議の表明が出されている。民主主義が護られる政治を求めて陳情に賛成する。

審議結果

賛成多数で採択

※本会議の質疑は紙面の都合上割愛させていただきました。



# 主な議案の説明と 審査結果

臨時会・定例会  
提出案件

○…賛成 ●…反対

		審査結果	松野亮子	大厩美秋	中山 眞	横澤はま	矢即 稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	那須博天	倉科栄司	
10月臨時会	議案	特別職の職員等の給与に関する条例及び池田町執行機関の附属機関設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（行財政検証委員会及び都市再生整備計画評価委員会を設置し、非常勤特別職に加えるため）	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	
		令和2年度 町道八代線道路改良工事 請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		GIGAスクール構想における一人一台端末共同調達に係る物品購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和2年度一般会計補正予算（第7号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11月臨時会	議案	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
		特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12月定例会	議案	北アルプス広域連合規約の一部変更に関する協議について（北アルプス広域連合が「白馬リサイクルセンター」の管理運営に関する事務を新たに行うことに関する規約変更）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		税外収入金に対する手数料および延滞金徴収条例及び池田町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		特別職の職員等の給与に関する条例及び池田町執行機関の附属機関設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（都市再生整備計画評価委員会を設置し、非常勤特別職に加えるため）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		町道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		町道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和2年度一般会計補正予算（第8号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	発議	令和2年度下水道事業会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		大北地域における在日米軍の飛行訓練中止を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		ただちに核兵器禁止条約に参加・調印・批准することを求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		日本学術会議会員の任命拒否の撤回を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
		国土強靱化対策の推進を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		池田町財政健全化のための施策に関する要請書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		陳情	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大北地域における在日米軍の飛行訓練中止を求める意見書提出に関する陳情	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
核兵器禁止条約発効を目前にした今、日本政府に対してただちに条約に参加・調印・批准することを求める陳情	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
日本学術会議会員の任命拒否の撤回を求める陳情	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

※倉科議長は表決には加わりません。

一口メモ 請願（陳情）の採択・不採択…議会がその内容を審議して決定した賛否の意思決定のこと  
表決（可決・否決・同意など）…議会の意思決定（個々の議員が参加し、議題などに対して賛成、反対の意思表示する）議長は表決に加わらない。



まるごし農園の稲

子どもから高齢者まで 元気な町に！  
米づくりを振興し 地産・地消の町に！  
“ごはん”を主食にした栄養バランス食  
「日本型食生活」のすすめ

議会食育推進特別委員会では、町の特徴を活かした食育条例の制定に向け検討しています。池田町は先人のたゆみない努力により古くから「米づくりの郷」として発展してきました。この特徴を活かして食育条例では、町での米づくりを振興し、「ごはん」を主食とする栄養バランス食である「日本型食生活」をすすめるようと考えております。「日本型食生活」は知られていない言葉ですので、その内容をお知らせいたします。

1 「日本型食生活」とは

「日本型食生活」とは、昭和50（1975年）年頃の日本人の食生活で、「ごはん」を主食に主菜（魚、肉など）、副菜（野菜、海藻など）に牛乳・乳製品、果物などの多様な副食を組み合わせた栄養バランスに優れた食生活です。米を主食とした一汁三菜などの食文化は「和食」としてユネスコ無形文化遺産に登録され、世界的にも認められています。

昭和50年頃の食生活をベースとした理由は次のように考えます。

- ①食事でエネルギーを産出す栄養素バランスの理想的な割合は炭水化物で50～65%、たんぱく質で13～20%、脂質で20～30%とされています。昭和50年（1980年）頃のエネルギーバランスが理想に近いことからベースになりました。
- ②近年、糖尿病などの生活習慣病が増加しているのは脂質の摂取割合が高くなったことも要因の一つと言われています。

2 なぜ「ごはん」を主食とするのか。

- ①「ごはん」には必須アミノ酸がバランス良く含まれ、十分なカロリー源とたんぱく質が得られ、体調を良くする様々な栄養素を含まれ、体に良いこと。
- ②「ごはん」は消化吸収が緩やかで腹持ちが良く、体脂肪の蓄積が抑えられること。
- ③「ごはん」中心の食事は多様な食に合い主菜・副菜をそろえるように意識すれば、栄養バランスがとり易いこと。
- ④「ごはん」には塩分がなく、減塩対策になること。

3 「日本型食生活」の効果

①生活習慣病の予防になる

町の健康診断結果では、子どもから大人まで肥満傾向がみられ、血液性状では糖尿病予備群を示す指数と言われているヘモグロビンA1cが高い傾向がみられます。これらの改善には「日本型食生活」が有効であることが東北大学都築毅（つづきつよし）教授のヒトによる試験により証明されています。国の第三期食育推進計画（平成28年～令和2年）でも生活習慣病の予防に「日本型食生活」の推進が掲げられています。

ただし、味噌汁一杯（150ml）には、1.2gから1.5gの塩分が含まれています。日本高血圧学会は一日の塩分摂取量として6g未満を推奨しており、味噌汁の減塩化が求められます。昆布・かつお節などのだし汁を

使い、減塩しても美味しい味噌汁にすることも方策の一つです。

②米づくりを振興し、地産地消に寄与する

「日本型食生活」を推進すれば、米の需要が増加します。そのことを通じて、町の米生産を振興し、地産地消のまちづくりに寄与したいと考えます。また、近年災害が頻発するなかで、米生産を振興すれば、町の食料自給率を高めて災害時にも役立ちます。

4 日本型食生活をどのように進めるか

「日本型食生活」は一日単位でなく数日から一週間単位のなかで考えるものです。また「日本型食生活」は家庭での調理を前提としたものではなく、「ごはん」に組み合わせる主菜・副菜には、惣菜などの中食や缶詰・冷凍食品・レトルト食品の活用や外食との組み合わせでも実行可能です（写真）。なお「日本型食生活」では「ごはん」以外の主食（パン・麺類）を否定するものではありません。パンや麺は直ぐに食べられる利点があり、忙しい日常生活で有効に活用されるべきと考えます。

食育推進特別委員会では、町民の皆様のご意見・ご要望をお聞き検討して、食育条例化を目指したいと考えております。

写真 ごはんをベースに中食を組み合わせた日本型食生活の例（農林水産省）





# 7 議員が町政をたただす!

ここが聞きたい

7人が一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

今回より、一般質問の様子がYouTubeでわかるように議員ごとQRコードを付けてあります。そちらの動画も是非ご覧ください。

質問者	質問事項
横澤 はま 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な財政再建に（夢出せ・知恵出せ・元気出せ）</li> <li>・健康長寿につなぐ食育推進について</li> <li>・学校の食に関する指導と給食管理運営について</li> </ul>
中山 眞 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政シミュレーション内容と総合計画の見直しについて</li> <li>・コロナ禍における高齢者、児童たちへの対応は</li> <li>・町長が考えているリーダーシップについて再度問う</li> </ul>
大厩 美秋 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・池田町気候非常事態宣言について</li> <li>・災害時における消防用水等の確保に関する協定について</li> </ul>
服部 久子 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設、学校、保育園の職員にPCR検査を</li> <li>・日本アルプス国際学院に対する町の姿勢を問う</li> <li>・コロナ禍ですべての国保短期被保険者に保険証の交付を</li> <li>・病児保育の充実を</li> </ul>
薄井 孝彦 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策について</li> <li>・町地下水資源の保全対策について</li> <li>・町小中学校の不登校児童数の現状と対策について</li> </ul>
松野 亮子 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業推進策について</li> <li>・糖分の過剰摂取と子どもの肥満について</li> </ul>
矢口 稔 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の財政状態と町長の政治姿勢は</li> <li>・事務事業の見直しにより行政のスリム化を目指す取り組みについて</li> <li>・財政問題における会染小学校大規模改修及び会染保育園への影響について</li> </ul>



健全な財政再建に  
「夢出せ・知恵出せ・  
元氣出せ」

横澤はま議員

**問** 健全な財政立て直しに、町長自ら身を削り、責任を明確に示し、信頼をどう取り戻すのか。

**答** 長期にわたり事業の見直し、経費削減、歳入要素の掘り起こし等に取り組み、任期中に財政立て直しの道筋をつける覚悟で臨んでいく。給与減額は、10%でお願いしたい。

**問** 財政の立て直しに、行財政改革推進委員会の設置を早急に。

**答** 各種施策の見直しや経常経費を削減するためには、行財政改革を早急に断行する必要がある。有識者、町民、議会等を含め検討し、委員会を設置する。

健康寿命延伸につなぐ食育推進は

**問** 「国民健康・栄養調査」「食育白書」で指摘されている食習慣・食環境など様々な課題を、健康寿命の延伸に繋げていくため食育の取り組み、啓発は。

**答** 健康長寿推進協議会で食環境、食習慣も含めて健康実態を共有し、食育推進計画や健康増進計画等をPDCAサイクルで評価・検証を行い、取り組みや啓発を具体的に示していく。



財政シミュレーションと総合計画見直し

中山 眞議員

**問** 町が提示した財政シミュレーションの見直しは。

**答** 今現在、普通交付税の伸び、事業中止等により、財政調整基金繰入れが当初より少なくて済む見通し。町民や各種団体にご協力いただく削減額9500万円は令和4年度以降もお願いしていく。

**問** それでも、向こう5年間で、財政調整基金を含めた基金が3億円以上減り、実質公債比率が16%を超える見通しか。

**答** そのとおりである。

**問** 経常的経費を財調で賄っている現状。どう経費を削減していくのか。また総合計画見直し案の作成は。

**答** 経常的経費は継続的、恒常的に支出される経費で、政策を見直さない限り同じように経費がかかり続けてしまう。今後政策の必要性や優先順位を、また総合計画見直しを町民を交えた「行政改革推進委員会」などで検証、改善していく。

コロナ禍の住民福祉は

**問** 住民の生活、住民の安全を守るのが行政「一人も取り残さない福祉の充実」



池田町気候非常事態宣言の今後について

大塚美秋議員

**問** 「気候非常事態宣言」に至った経緯をお聞きする。

**答** 世界中でこの気候変動による災害の影響を受け、益々進む温暖化を止める取り組みが進められており、地球の危機ともいえる現状である。そこで地域を守る市町村と地域住民が現状を認識し、温暖化を止める行動を起こさなければ、とても収まるものではないと感じ宣言に至った。

**問** 宣言から、10ヶ月が経とうとしているが、具体的な動きが見えない。庁内へ方針説明はしているか。また、進捗状況をお聞きする。

**答** 省エネルギー、再生可能エネルギー転換を重要課題とし、庁内プロジェクトとして、若手職員を中心に検討が始まっている。

**問** 数値目標のある 具体的な方針を決め、町民や事業者へ取り組みの共有と協働をお願いするのはいつできるか。また「気候非常事態宣言」「ゼロカーボン宣言」の内容説明は、すぐにできる。町長の考えは。

**答** 数値として見える目標は、第6次総合計画にある、燃えるゴミの排出量削減と、太陽光システム設置の推進を行う。現



栄養バランスの良い和食文化（日本型食生活）



**池田町健康長寿食育条例（仮称）**で進める「栄養バランスが優れた減塩・野菜摂取等に配慮した日本型食生活」の普及についての考えは。

**答**

日本型食生活は大いに推奨するものであり、普及、推進は重要な課題。ただ、多種多様な食生活及び食関連業者が存在しているので、条例化には慎重に取り扱うべきと考える。

**「早寝早起き朝ごはん」運動～あたりまえのこ**をしっかりと～の町民の意識啓発を。

**答**

朝食は、第6次総合計画の成果指標や食育推進計画の基本として位置づけている。保育園や小中学校で食育指導を行っている。朝食の大切さを引き続き啓発、推進していく。

をうたっている町長の、福祉関連予算の削減との整合性は。

**答**

可能な限り影響の少ないところでの予算削減をした。職員と生活支援コーディネーターが地域を訪問して、町民の方たちと対話している。今後もこまめな対話で福祉の充実を図っていく。

**町長の判断力とリーダーシップ**

財政再建、新型コロナ対策にはトップの的確な判断力とリーダーシップが必須。正しい判断をしていけば、財政調整基金に手を付けている事態に早くから気づくはず。また大勢の職員たちの声を聴いて判断するのがリーダー。どうリーダーシップをとっていくのか。

**答**

判断の甘さでこの状況を引き起こしてしまった。出来上がった中期5年間の財政シミュレーションに精査を加えながら、間違いない方向付けができるよう取り組んでいく。また、町民の皆様にもご協力をお願いし、官民一体となって難局を乗り越えていきたい。

**答**

再度町民の声を聴く場を設ける意思は。

**答**

パブリックコメントでの意見をとりまとめ、議会と協議していく。また町民説明会が必要かは、今後町民の皆様

の意見を聞きながら方向を定めていく。



在はボトムアッププロジェクトにより、アイデアを集め、精査する段階にきている。新年度になったら取り組みをはっきり伝える。内容説明は早い時点でお伝えしたい。

**災害時における消防用水等の確保に関する協定について**

大北生コン事業協同組合と災害時の連携協定を結べたことは、防災強化につながり非常に心強い。経緯と内容をお聞きする。

**答**

過去の林野火災等において、消防水利の確保に苦慮した事があり、特に広津地区においては水源が乏しく、大町消防署からの応援要請をする必要があった。今回の協定によりミキサ一車による水の供給が可能となり、火災時の消火用水、地震や風水害等による災害時は、生活用水として供給できるようになった。

**答**

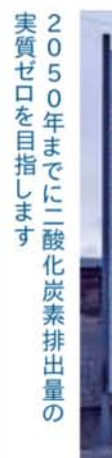
実践できる体制はできている。今後、防災訓練などで中継送水訓練を計画している。町民の方にも見ていただきたい。PRは、広報等での掲載を検討する。

**答**

実践できる体制はできている。今後、防災訓練などで中継送水訓練を計画している。町民の方にも見ていただきたい。PRは、広報等での掲載を検討する。

**答**

2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指します





介護施設、保育園、  
学校の職員にPCR  
検査を  
服部久子議員

**問** コロナ感染症拡大を防ぐために介護施設、保育園、学校の職員にPCR検査を。

**答** 検査体制に限界があり困難である。

**問** 全国で住民にPCR検査補助を出している。町でも実施を。検査費用、体制が困難である。

**問** 日本アルプス国際学院に対する町の姿勢は

**答** 日本アルプス国際学院の誘致は町がしたのか。

**答** 設立したのは当時の理事長である。人口減少、教育過疎地の地域であるので支援していきたい。

**問** 学院が使用予定であった旧教育会館の改修費237万円の負担をなぜ求めないのか。

**答** 法改正により施設が不要となったのはやむを得ないことであり、またコロナ禍での厳しい経済状況を考慮し、電気工事の改修費は学院に請求しない。



災害時の対策は  
薄井孝彦議員

**問** 洪水時の避難行動要支援への取り組みは、また個別支援計画作成の取り組みは。

**答** 新たな高瀬川洪水ハザードマップが今年度中にできる。これにともなう避難対策を検討するなかで、地域の自主防災会に避難に支援を要する方への支援協力者を決める活動を7月までに完了するようお願いしていく。

**問** 東京大学芳村教授は30時間前に河川の氾濫・決壊を予測するシステムを開発し、効果を検証する自治体を求めている。町も北アルプス広域連合と連携して共同研究の申し込みを。

**答** 広域連合のなかでも検討していきたい。

**問** 地域防災力の向上のため、3か年目標で、自治会とは別組織の自主防災会の立ち上げにむけ町の取り組み強化を。実現できるように取り組む。

**答** 町地下水資源の保全対策を

**問** 大町市が国のSDGs、未来都市に選定され、地下水企業の誘致がうた

### 住民団体の皆さんと意見交換会開催

12月2日、役場大会議室において、池田町の未来を考える会を中心に11名の皆さんと議員が意見交換を図りました。テーマは池田町の財政改革。



意見交換会の様子

などでした。

その中で、町のシミュレーションが十分な検討なく、令和7年度には経常的経費が歳出のほとんどを占めるといふ異常なものになっていること、町民に分かりやすい財政再建の方針、施策を示すべきであること、議会と町民一体で町の姿勢を正していくことを確認しました。

また、財政調整基金の安易な取崩しの是正、明確な財政シミュレーションの提示、役場内機構改革で人件費削減、公共施設の見直しなどの短期的対策の必要性と、長期にわたる財政再建方針を、町民参加の「行財政改革推進委員会」の設置で検証していくことなどの意見交換が行われ、今後、町に明確な回答を求めていくことが不可欠との認識を共有しました。

これまで、議員有志と町民との意見交換会や、

すべての国保短期保険証の該当者に保険証の交付を

**答** 現在、短期保険証42件のうち9件は保険証未交付である。コロナ禍が落ち着くまで、すべての短期保険証の該当者に保険証の交付を。

**答** 納付契約を守る方や電話依頼の方に郵送している。公平性を考え現在の対応を取る。

病児保育の充実を

**答** 大町総合病院で実施している病児保育は、未就学児までが対象である。小学校低学年まで対象にできないか。

**答** 1年間の利用実績を踏まえ保護者アンケートを取り分析する。  
池田町は78万円負担しているが、町の利用者はゼロである。あづみ病院での実施を求める。

**答** 利用実績を踏まえ保護者アンケートを取る。



病児保育を行っている大町総合病院



われている。これが実行されると、町の地下水資源に影響を及ぼす可能性がある。町長から大町市に慎重に考えて欲しいことを伝えて欲しいが。

市長に伝える。

**答**

町地下水資源の状況を把握するため浅井戸調査の実施を。

**答**

来年度実施予定のアルプス地域地下水保全対策協議会において調査項目で提案し、対応していきたい。

小中学校の不登校児童対策は

**答** 町小中学校の不登校児童（30日以上の欠席）の割合が高い。原因と対策は。

**答** 町は児童一人ひとりの状況を正確に把握しているためと考える。不登校児童には、個別に丁寧に対応している。30人学級の実現を県に要望を。

**答**

県の考えを聞いていく。



家庭用などに利用されている浅井戸



地域での住民説明会など行ってきましたが、今後も議員全員が町民の声を広く取り入れながら、行政に財政危機の根本的解決を求めていくことが必要になってきます。  
町民の声が一方通行にならないよう、行政に問いただしていきたいと思えます。

〈表紙の写真から〉

内鎌地区で恒例の三九郎行事

令和3年1月10日、内鎌子ども会が中心となつて、児童、保護者、地域のお年寄りたち約70名が参加して、三九郎が執り行われました。

こども会会長の伊藤沙織さんによると、今年には感染症対策で、4年生以上の参加としたそうです。約30名の児童が大人たちに交じつて、大三九郎、小三九郎の2塔を造りあげました。中でも、今年小学校卒業の6年生8名が手作りのたいまつを持ち寄つて、盛大な三九郎に花を添えました。名付けて「鬼滅の刃たいまつ」。柄の部分とつばに鬼滅の刃の模様入り。炭次郎と七人の禰豆子たちは、燃える刀で、2

塔の三九郎に火をつけて回り、厄払いをしました。

今年一年、無病息災でありますように。



4,5,6年生のみなさん



保護者、地域の方たち



### 町の有機農業推進策について

松野亮子 議員

**問** 前の議会で、町長から「魅力ある農業として、有機農業を推進したい」との答弁があった。改めて、今後の町としての有機農業推進策についてお尋ねする。また、11月25日に初めて有機米が池田松川の学校給食で提供されたが、今後の予定についても伺いたい。

**答** 有機農業推進は、公約として進めていく。今、町として、有機農家の登録を行っている。有機米提供は、急な実施ではあったが、生産者の理解があり、年6回の実施が可能となった。次年度以降は予算の関係もあるが、月1回を目標としたい。

**問** 有機農業推進のためには、JA、生産者も含めた会が必要と考えるが、その予定はあるか。

**答** 有機農業に取り組む生産者情報がある程度集まったところで、JAの意向も確認しながら検討する。

**問** 今、町が進めている有機農家の登録がある程度進んだ段階で、登録した生産者と生産意欲が保てる米の価格を話し合う必要があるのではないか。

**答** 安全な食材を使用する取り組みにはできる限り協力したいが、供給量や



### 財政状態と町長の政治姿勢

矢印 議員

### 財政悪化 副町長は以前から認識

**問** 町長は今年3月頃に財政問題について危機感を持ったようだが、現在の認識は。

**答** 3月に予算編成で絞りきれず、財政調整基金が、枯渇に近い状況になってしまい、危機的状況を認識した。11月になって、交付金等が確定したが、はつきりと長期的な財政の厳しさを認識した。

**問** 副町長はいつ頃問題を認識していたか。

**答** 企画政策課長の頃からこのような状況にあることは予想していた。当大型事業が計画されており、財政調整基金に頼らざるを得なく、今回の事態を招いてしまった。

### 複数の財政シミュレーション公表へ

**問** 先日の町民説明会で財政シミュレーションが示されたが、以前に何度か議会に示された数字と違う。もう一度、正確で様々なケースに応じた複数のシミュレーションの提示を公表すべきでは。

あずみの池田オーガニッククラブ  
～一緒に有機野菜を育てませんか？～



オーガニッククラブの仲間たち

### ぜひ皆さんと一緒に

昨年より、議員有志と町民有志で始めたあずみの池田オーガニッククラブ(あずみの池田有機農法研究会から名前を変えました)の活動の紹介およびお誘いです。

### 作業について

作業日は、毎週土曜日(天候その他の事情で変更の可能性もあり)で、今は大体10名ぐらいで、

価格の問題は、関係機関が一体となって議論する必要がある。

**答** 有機学校給食を含めて有機農業推進を町の移住政策の柱とするのはどうか。

**答** 特に子育て中の家庭の方は食材に強い関心を持つ人が多い「オーガニックの町」を町の魅力の一つとして、移住政策に取り入れていきたい。

**答** 有機農業推進担当者を置くことが、今後、必須ではないか。新年度に向けて、どのような体制にするか検討する。



学校給食での無農薬米を報じた新聞  
(大系タイムス提供)



**答** 想定される事業を盛り込んだ複数の財政シミュレーションを作成する。

**答** 会染保育園・会染小学校と統合を検討

**答** 学びの郷活性化委員会内の部会で、議論の方向性として会染保育園と会染小学校を統合して会染小学校に「保小一体の学びの場作り」が検討されている。議論の経過を公開し様々な意見を取り入れて議論していくのが必要ではないか。

**答** 議論の中で保育の質を絶対落とさなまいということが確認された。最終答申までの間に保護者との懇談も予定する。

**答** 会染小学校の大規模改修の方向性は定まっているのか。会染保育園との緊密な連携を前提とするもので、計画にも影響する。遅くとも令和7年度には着工できるように手続きを進めたい。



「保小一体の学びの場」が検討されている会染小学校



和気あいあいと楽しく作業しています(都合のいいときに参加の自由参加です)。活動2年目になる今年は、夏野菜の種まきから始め、苗づくりも自分たちで行う予定です。種まき、苗の定植方法、生育中のお世話の仕方、収穫方法など、学ぶことは毎回盛りだくさん。作業をしながら、この野菜はこんな食べ方をするとおいしいなどの、情報交換も楽しいです。いつもたくさんの無農薬野菜を持ち帰ることができ、採れた野菜で収穫祭もやります。

### 見学も大歓迎

野菜作りに興味がある方すでにやっている方、一緒に学んだり、情報交換をしたりする仲間が欲しいという方、ぜひ、一緒に野菜作りを楽しみましょうか? 見学も歓迎です。  
<連絡先>

松野亮子(電話: 0261-25-0710)  
和澤忠志(電話: 080-6938-3052)

### 昨年作った野菜

ジャガイモ、きぬさや、インゲン、春菊、レタス、ルッコラ、ポップコーン、ナス、トマト、きゅうり、ピーマン、甘長唐辛子、唐辛子、サツマイモ、もちキビ、アマランサス、タカキビ、パクチー、ニンジン、ズッキーニ、カボチャ、白菜、芽キャベツ、キャベツ、ブロッコリー、日野菜カブ大根(5~6種類)、ほうれん草、水菜、ターツアイ、玉ねぎ、ニンニク、ジャンボニンニク、ピーツ、スイバなど。

# シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第17回 —



いつじろう  
赤羽逸次郎さん (林中)

## 活動内容

大正12年10月2日生まれ 97歳  
定年まで大北農協に勤務  
元町議会議員／元町監査委員

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

### 議員経験者の一人として

こうして話をしたり、いろいろな情報を聞けることは、非常に楽しい、またうれしいことです。

20年も前に町の公職は引退しましたが、当時を振り返ると、松澤町長に頼まれ、2期にわたり監査委員を務めました。時の流れるのは早いもので、未だにたくさんの方が思い出されます。ゆっくりと流れる時代の中で、真剣に事に当たりました。中でも不正は許さなという態度で臨みまし

た。ここではあまり公に

言えない事例もありました。いい経験をさせていただきました。そのおかげか、町職員からはよく相談を受けることもあり、その都度アドバイスをしてきました。

**町の財政を危惧**  
また、農協の総務部長を務めた経験から財務には人一倍精通するところがあり、貸借対照表や損益計算書から数値解析をすることが得意でした。

今回の財政問題は大変危惧するところであります。今度の財政問題は大変危惧するところであります。

す。広報や新聞等を見る

中で、町長・副町長・教育長の考え方が薄い、責任は重大と思っております。

また管理職である課長クラスの責任も重いと認識しています。プロとしての意識をもっと持つてほしい。中でも財政調整基金の使い方を慎重に考え、政策について進言すべきであります。事業や予算については課長が一

番わかつては課長が、その先頭に立つ方々が自信をもって事に当たっても

らいたい。

### 議会の責任

さかのぼって、議会の皆さんも腹を据えて考えなければならなかったことは、大型事業を進めるときにもっと慎重になつてほしかった。お金がなくて事業を行うということとは問題であります。事業の縮小や変更を考えるべきであった。これは議会にも一部責任があると考えます。議会はそれぞれの議案について審議し認めてきた点と、チェック機能としての役目を果たさなければならぬということ念頭に置いてほしい。

監査委員もそれぞれの報告書をしっかりと精査しアドバイスをしていただきたい。  
議会議員のOB会でも資料を頂くが、目を通したときに心配していたことが現実となってきたと感じています。実質公債費比率についても徐々に



今も元気に畑仕事

が上がっていくことが危惧されます。

### 責任をもって真剣に

ここで、車の免許も返納したような年寄りの方が更苦言を言うこともありませんが、町長を中心に三役や管理職また議員が一丸となって、責任をもって真剣にこの窮状を乗り切つてほしい、皆さんの努力に期待しています。



## 編集後記

新型ウィルスや、町財政問題など昨年は重苦しい1年でした。新年、嬉しいニュースとして、「ふるさとCM大賞」で初めて最優秀賞を受賞。今年もCMのように池田町の良さを積極的に発信していきたいと思えます。一人ひとりが池田町の主人公です。小さな声を傾けながら、本年も町民の皆さんの負託に応えられるよう、謙虚に取り組んでまいります。引き続きご意見を賜りますようお願い申し上げます。

矢口 稔

### 議会報編集特別委員会

委員長 矢口 稔  
副委員長 中山 眞  
委員 松野 亮子  
大出 美晴  
服部 久子  
那須 博天



次回議会だより発行は令和3年4月28日(水)を予定しています。ぜひ、御覧ください。